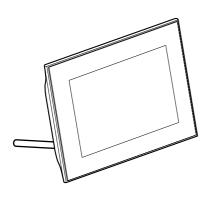
FUJIFILM

DIGITAL PHOTO FRAME

DP-700SH

使用説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この説明書には、デジタルフォトフレームの使い方がまとめられています。
内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本製品の関連情報はホームページをご覧ください。

http://fujifilm.jp/

はじめに

お使いになる前に

次の手順に従って準備してください

❶ 箱の中の付属品がすべてそろっているかを確認してください（下記）。

❷ 本製品を安全に使用されるために、
「お取り扱いにご注意ください」（→ 57 ページ）をお読みください。

❸ 本書をよくお読みの上、本製品をお使いください。

■ 本体 1 台および付属品一覧

デジタルフォトフレーム本体

リモコン（1 個）
（リモコン用電池はあらかじめ
リモコンにセットされています。）

AC アダプター（EP-D72F）

スタンド（1 本）

・使用説明書（本書）

・保証書

本書について

この使用説明書の以下のページを開くと、お探しの情報が簡単に見つかるようになっています。

➡ こんな時に使いたい機能一覧 → P.3

この製品を使ってやりたいことがあっても、どの機能を使えばいいか分からないときにご覧ください。

➡ 目次 → P.5

主な機能が使用説明書のどこに記載されているかを知りたいときにご覧ください。目次を見ると、使用説明書全体の流れがつかめます。

➡ トラブルシューティング／ FAQ → P.60

この製品の動作がおかしいとき、画像が正しく表示されないときなどの原因と対処法を紹介しています。

➡ 警告表示 → P.63

液晶画面に表示される警告の意味と原因を紹介しています。

➡ 用語の解説 → P.66

この製品に関する専門用語を解説しています。

➡ 索引 → P.70

用語や項目名をもとに、詳しい説明の記載ページを探せます。索引は五十音順になっています。

使用可能なメモリーカードについて

この製品では、SD メモリーカード、xD- ピクチャーカード、メモリースティック、コンパクトフラッシュがお使いになれます。本書では、これらのカードを「メモリーカード」と表記します。
詳しくは「メモリーカードについて」（→ 67 ページ）をご覧ください。

本書での説明について

リモコン操作を基本に説明しています。
本体／リモコンで同じ名称のボタンは同じ働きをします。

本書で使われている記号について

注意：この製品を使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。

チェック：実際に操作するときに確認していただきたいことを記載しています。

メモ：使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

液晶画面のイラストについて

本書では、横置き用画面を前提に操作を説明しています。また、液晶画面の表示を簡略化して記載していますので、実際の画面と文字などの表示が一部異なることがあります。

こんな時に使いたい機能一覧

したいことや知りたいことから、使える機能の説明が記載されているページを探せます。

本製品の設定、操作について

こんなことがしたい、知りたい	キーワード	ページ
本体／リモコンのボタンの名前を知りたい。	各部の名称	P. 8
周囲が暗くなったときは自動的に電源がオフになるようにしたい。	省エネモード	P. 31
周囲の明るさに応じて自動的に液晶画面の明るさを変えたい。	省エネモード	P. 31
メモリーカードのファイルを内蔵メモリーにコピーしたい。	内蔵メモリーにコピー	P. 21
内蔵メモリーのファイルをメモリーカードにコピーしたい。	内蔵メモリーからコピー	P. 32
内蔵メモリーのファイルを消去したい。	内蔵メモリーのファイルを消去	P. 33
内蔵メモリーのフォルダ数を変更したい。	パソコンと USB で接続	P. 55
液晶画面の明るさを変えたい。	バックライトの明るさ	P. 38
内蔵メモリーの空き容量を知りたい。	内蔵メモリー残量表示	P. 38
再生したいデータの入っているメモリーに切り替えたい。	再生メモリーの切替	P. 40
本製品の時計を合わせたい。	日付時刻の設定	P. 16
変更した設定項目を初期値に戻したい。	各種設定項目の初期化	P. 50
内蔵メモリーの全データを消去したい。	内蔵メモリーの全消去	P. 50
デジタルカメラや携帯電話のデータを、赤外線通信を使って、内蔵メモリーにコピーしたい。	赤外線通信	P. 52
パソコンのデータを内蔵メモリーにコピーしたい。	パソコンと USB で接続	P. 55
電源をオンにしたとき、または一定時間操作をしなかったときに表示される画面を変更したい。	お気に入り画面登録	P. 28
液晶画面に表示される警告表示の意味を知りたい。	警告表示	P. 63

画像の再生、表示について

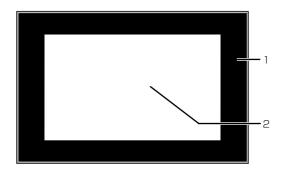
こんなことがしたい、知りたい	キーワード	ページ
画像の一覧表示から、お気に入りの画像を探したい。	インデックス表示	P. 23
画像を個別に確認したい。	1 枚表示	P. 24
表示中の画像の詳しい情報を知りたい。	詳細情報表示	P. 24
画像の特定部分を拡大して表示したい。	拡大表示	P. 25
拡大した画像の表示位置を調整したい。	表示位置の調整	P. 25
拡大した画像を元のサイズに戻したい。	縮小表示	P. 25
画像を回転して表示したい。	画像回転	P. 25
カレンダーや時計を表示したい。	カレンダー・時計表示	P. 26
お気に入りの画像をカレンダーや時計と組み合わせて表示したい。	画像付きカレンダー・画像付き時計	P. 27
スライドショー、インデックス画面などで表示する画像をフォルダ単位で絞り込みたい。	絞り込み	P. 41
スライドショーの表示間隔、エフェクトなどを変えたい。	スライドショーの設定	P. 37
画像の表示順を切り替えたい。	再生順の設定	P. 38
予約した時刻に自動的に電源がオンになり、スライドショーなど画像の表示が始まるようにしたい。	ON タイマー	P. 45
予約した時刻に自動的に電源がオフになるようにしたい。	OFF タイマー	P. 45
設定した日時に写真とメッセージを流して、記念日を知らせるようにしたい。	記念日お知らせ	P. 47

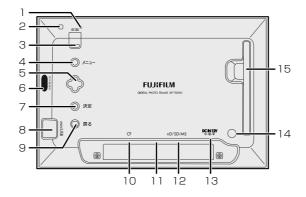
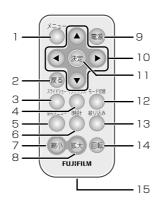
目次

各部の名称

使い方や説明については、名称の右側に記載されているページをご覧ください。

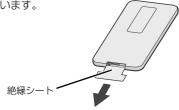
デジタルフォトフレーム本体

■ 前面

1	リモコン受光部 P.10	**2**	液晶画面

■ 背面

1	スタンバイランプ P.13	**10**	コンパクトフラッシュカードスロット P.17
2	明るさセンサー P.31	**11**	メモリーカードアクセスランプ P.17
3	電源ボタン P.13	**12**	SD メモリーカード／xD- ピクチャーカード／メモリースティックスロット P.17
4	メニューボタン P.15	**13**	電源入力端子
5	カーソル（▲、▼、◀、▶）ボタン	**14**	スタンド用ねじ穴 P.12
6	赤外線通信ポート P.53	**15**	スタンドホルダー P.12
7	決定ボタン		
8	mini USB B 端子 P.55		
9	戻るボタン		

リモコン

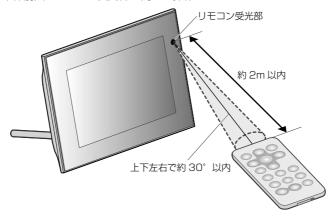
1	メニューボタン	P.15
2	戻るボタン	
3	スライドショーボタン	P.20
4	インデックスボタン	P.23
5	便利メニューボタン	
6	時計ボタン	P.26
7	縮小ボタン	P.25
8	拡大ボタン	P.25
9	電源ボタン	P.13
10	カーソル（▲、▼、◀、▶）ボタン	
11	決定ボタン	
12	モード切替ボタン	
13	絞り込みボタン	P.41
14	回転ボタン	P.25
15	電池ホルダー	P.11

リモコンを準備する

本製品のリモコンには、あらかじめ電池がセットされています。
絶縁シートを引き抜いてお使いください。

チェック

- リモコンにセットされている電池は、お試し用の電池です。リモコンが正しく動作しなくなったときは、電池を交換してください。電池の交換手順については、「リモコンの電池を交換するときは」(→ 11 ページ)をご覧ください。

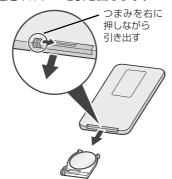
リモコンを使用するときは

リモコンを本体前面のリモコン受光部に向けて操作してください。

注意

- 明るさセンサーやリモコン受光部にシールなどを貼って隠さないでください。

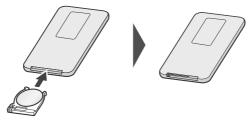
リモコンの電池を交換するときは

使っているうちにリモコンが正しく動作しなくなったら、市販されている新しい電池（品番CR2025）に交換してください。

1 リモコンを裏返し、電池ホルダーを引き出します。

2 古い電池を取り出し、新しい電池の＋マークが上になるようにして電池ホルダーに入れます。

注意

・電池の裏面と表面を間違えないように電池ホルダーに入れてください。

3 電池ホルダーをリモコンに差し込みます。

チェック

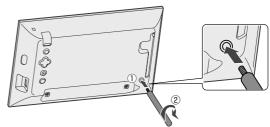
・「カチッ」と鳴るまで差し込んでください。

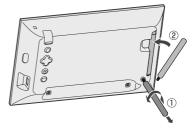
スタンドでデジタルフォトフレームを立てる

スタンドを取り付けてデジタルフォトフレームを立てます。

スタンドを取り付ける

① スタンドを取り付け用のねじ穴に入れます。
② スタンドを右に回して取り付けます。

メモ
・持ち運びするときは、スタンドホルダーにスタンドを収納できます。

スタンドを収納する

① スタンドを左に回して取りはずします。
② スタンドをスタンドホルダーに収納します。

スタンドを立てる

本製品は、縦置き／横置きのどちらでも立てられます。本製品に内蔵の縦横自動判別センサーが縦置き／横置きを感知し、自動的に画面表示を切り替えます。本製品が対応している立て方は下図の通りです。それ以外の角度には対応していません。

横置き時

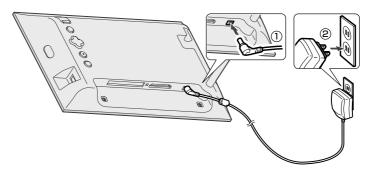
縦置き時

注意
・本製品は壁掛けで使用しないでください。また、両面テープなどで壁に貼り付けないでください。

チェック
本製品を横置き専用で使うには「表示関連の設定をする」（→ 38 ページ）をご覧ください。

メモ
・スタンドの角度は調整できません。
・本体背面のカーソルボタンの操作も本体の向きに連動します。

電源をつなぐ

AC アダプター（付属）を取り付けます。

注意

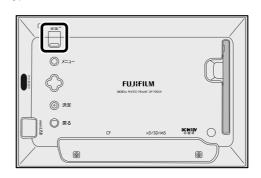
・AC アダプターは、必ず付属の製品をご使用ください。

電源をオフにする／オンにする

電源をオフにする

本体またはリモコンの**電源**ボタンを押します。
背面のスタンバイランプが緑色から赤色に変わります。

電源をオンにする

本体またはリモコンの**電源**ボタンを押します。

背面のスタンバイランプが赤色から緑色に変わり、スライドショーが始まります。
メモリーカードと内蔵メモリーに表示できるデータが保存されていない場合は、メニュー画面が表示されます。

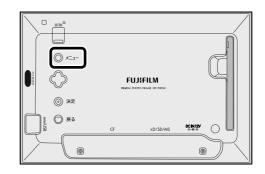
デモ画像について

工場出荷時は、内蔵メモリーにこの製品の特長機能を紹介するデモ画像が入っています（デモ画像のスライドショーが始まります）。
デモ画像を消去する場合は、「内蔵メモリーのファイルを消去する」（→ 33 ページ）の操作で消去してください。

メモ

・画像の入ったメモリーカードが挿入されているときは、デモ画像の表示には移行せず、自動的にスライドショーが始まります。

メニューについて

本体またはリモコンのメニューボタンを押します。

メニュー画面が表示されます。

メニュー画面は、本製品の各種機能を選択するメインメニューです。
「スライドショー」「インデックス」「カレンダー・時計」「設定」「赤外線通信」の５つの項目が選択できます。メニューの選択は、本体またはリモコンのカーソル（◀ ▶）ボタンと**決定**ボタンを押します。各項目の概要については、以下の表をご覧ください。

項目	説明
スライドショー	内蔵メモリーやメモリーカードの画像をスライドショー形式で表示します。
インデックス	内蔵メモリーやメモリーカードの画像を一覧表示します。また、一覧から画像を選択して、１枚表示することもできます。
カレンダー・時計	カレンダーや時計を表示します。画像と組み合わせて表示することもできます。
設定	いろいろな設定を行います。
赤外線通信	デジタルカメラや携帯電話から本製品に画像を送信し、画面に表示したり、内蔵メモリーに保存したりします。

時計を設定する

日付時刻を設定することで、カレンダー・時計表示、記念日お知らせ機能、ON タイマー・OFF タイマーなどが正しく動作します。

1 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2 ◀、▶で**設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
各種設定画面が表示されます。

3 ▲、▼で**時計／タイマーの設定**を選び、**決定**ボタンを押します。

4 ▲、▼で**日付時刻の設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
日付時刻の設定画面が表示されます。

5 設定する項目（年、月、日、時、分、秒）を◀、▶で選択し、▲、▼で変更します。

6 **決定**ボタンを押します。

メモ
・ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。
・メニュー画面に戻るとき：**メニュー**ボタンを押します。

設定した日付時刻を確認するには

本製品にカレンダーや時計を表示することができます。詳しくは「カレンダー・時計を表示する」（→ 26 ページ）をご覧ください。

メモ
・本製品には時計バックアップ機能が内蔵されており、AC アダプターを抜いても日付時刻の設定が約 24 時間保持されます。設定が消えてしまったときは、再度設定してください。

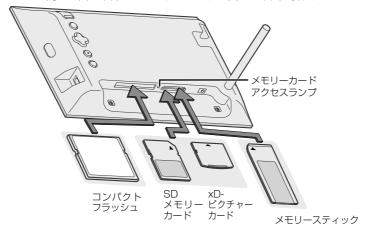
画像を見る

本製品で画像を見るための基本的な操作について説明します。
本製品では、メモリーカードや内蔵メモリーの画像をスライドショー形式（画像を自動で切り替えて表示する形式）で表示できます。また、お気に入りの画像があるときは、その1枚だけを表示することもできます（→ 28 ページ）。表示する画像は、パソコン、デジタルカメラ、携帯電話からコピーすることができます。コピーにはメモリーカードを使用するほか、赤外線通信（→ 52 ページ）や USB ケーブル（→ 55 ページ）を使用することもできます。

チェック

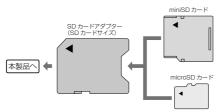
・お気に入りの画像を 1 枚だけ表示させたいときは、「お気に入り画面を登録する」（→ 28 ページ）をご覧ください。

メモリーカードを入れる

メモリーカードの向きを図で確認し、カードスロットの奥まで確実に挿入します。

メモリーカード挿入時のご注意

・電源がオフの状態のときに、メモリーカードを挿入してください。
・斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。
・メモリーカードのデータは、パソコンなどで必ずバックアップを取ってから使用してください。
・メモリーカード内のデータが多いと、カードの認識に時間がかかる場合があります。

使用できるメモリーカードの種類について

・本製品で miniSD や microSD、メモリースティック Duo などを使用するには、それぞれのカードに対応したアダプターが必要です。詳しくは「メモリーカードについて」（→ 67 ページ）をご覧ください。

左図は miniSD と microSD を使用する場合の例です。

メモリーカードを取り出すときは
電源をオフにした状態で、メモリーカードアクセスランプが点滅していないことを確認し、メモリーカードをそのまま引っ張って取り出します。

■ メモリーカード／内蔵メモリーの優先順位について

メモリーカードが入っていないとき：内蔵メモリーのデータが表示されます。

メモリーカードが入っているとき：メモリーカードのデータが表示されます。

2 種類のメモリーカードが入っているとき：メニュー操作やリモコンの**便利メニュー**ボタンで切り替えます（→下記）。

再生したいデータの入っているメモリーに切り替えるには

- 再生するメモリーカード／内蔵メモリーを、メニュー操作やリモコンの**便利メニュー**ボタンで切り替えることができます。詳しくは「再生メモリーを切り替える」（→ 40 ページ）をご覧ください。
- 左右のカードスロットにメモリーカードを入れたときは、右側の SD メモリーカードなどのカードスロットが優先されます。

画像をスライドショーで表示する

工場出荷時の状態では、内蔵メモリーに保存されている画像が自動的にスライドショーで表示されます。メモリーカードが挿入されているときは、メモリーカード内の画像がスライドショーで表示されます。

チェック

- 別のメモリー（メモリーカード／内蔵メモリー）の画像を見るときは、「再生メモリーを切り替える」（→ 40 ページ）の操作をしてください。
- スライドショーの設定（切替間隔の設定、エフェクトの設定）については、「スライドショーの設定をする」（→ 37 ページ）をご覧ください。
- 再生順を切り替えるには、「表示関連の設定をする」（→ 38 ページ）をご覧ください。
- 表示する画像をフォルダ単位で絞り込むことができます（→ 41 ページ）。
- 画像の撮影日を表示することができます（→ 19 ページ）。
- お気に入りの画像を 1 枚だけ表示させたいときは、「お気に入り画面を登録する」（→ 28 ページ）をご覧ください。

メモ

- メモリーカードが入っていない状態で、内蔵メモリーに画像が保存されていない場合は、メニュー画面が表示されます。

表示できる画像のファイル形式について

- JPEG 形式の画像ファイル（Exif 規格に対応）を表示できます。JPEG 以外のファイルや、パソコンで加工したファイルは、表示できない場合があります。

スライドショーの表示モードについて

スライドショーには 5 種類の表示モードがあります。**モード切替**ボタンを押すたびに表示が切り替わります。

スライドショー（スタンダード）

画像が 1 枚ずつ順番に表示されます。

スライドショー（カレンダー）

カレンダーと画像が表示されます。カレンダーのデザインは好みに応じて選べます。

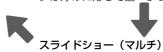
スライドショー（時計）

時計と画像が表示されます。時計のデザインは好みに応じて選べます。

スライドショー（マルチ）

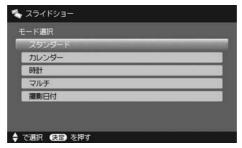
一度に 3 枚の画像が順番に表示されます。

スライドショー（撮影日付）

画像とその画像の撮影日時が表示されます。

メモ：スライドショーで表示される時計について

・スライドショー（時計）で表示させる時計の種類は、時計選択画面で選びます（→ 20 ページ）。

表示モードを選択してスライドショーで表示する

1 **スライドショー**ボタンを押して、モード選択画面を表示します。

2 ▲、▼で**スタンダード**、**カレンダー**、**時計**、**マルチ**、**撮影日付**のいずれかを選びます。

3 **決定**ボタンを押します。
スライドショーがはじまります。

カレンダー、時計のスライドショーを選んだときは

カレンダー、**時計**選択時のみ、▲、▼で好みのデザインパターンを選び、**決定**ボタンを押します。

メモ

- スライドショーのとき、**決定**ボタンを押すと、スライドショーで表示されている画面が全面表示され、スライドは停止します。
  戻るボタンを押すと、スライドショーが再開します。

メモ

- ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。
- メニュー画面に戻るとき：**メニュー**ボタンを押します。

■ 表示モード（**スタンダード、カレンダー、時計、マルチ、撮影日付**）をリモコンで切り替えるには

スライドショー表示中に、**モード切替**ボタンを押します。
押すたびに、表示モードが順に切り替わります。

メモリーカードのファイルを内蔵メモリーにコピーする

使用するメモリーカードを入れておいてください（→ 17 ページ）。

1 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2 ◀、▶で**設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
各種設定画面が表示されます。

3 ▲、▼で**ファイルの管理**を選び、**決定**ボタンを押します。
ファイルの管理メニューが表示されます。

4 ▲、▼で**内蔵メモリーにコピー**を選び、**決定**ボタンを押します。

5 コピーするファイルを選択します。

▲、▼、◀、▶でファイルを選び、**決定**ボタンを押してチェックマークを付けます。
同じ操作をくり返し、コピーするすべてのファイルにチェックマークを付けます。
全データをコピーするときは**メニュー**ボタンを押して項目を移動し、「すべて選択」を選んでチェックマークを付けます。

6 **メニュー**ボタンを押し、▲、▼で**実行**を選び、**決定**ボタンを押します。

7 ▲、▼で移動先のフォルダを選び、**決定**ボタンを押します。
「＊＊＊＊個のファイルをコピーしますか？」と表示されます。

8 ▲、▼で**はい**を選び、**決定**ボタンを押します。
選んだファイルが内蔵メモリーにコピーされます。
「コピー中→コピーしました」と表示が出て、自動的に **3** の画面に戻ります。

チェック

・ファイル選択画面で表示する画像をフォルダ単位で絞り込むことができます（→ 41 ページ）。

メモ

・ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。
・メニュー画面に戻るとき：**メニュー**ボタンを押します。

注意

・コピー中は、電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。機器やメモリーカード、データが破損する恐れがあります。

画像を個別に確認する

画像の一覧（インデックス）画面から、画像を個別に確認することができます。画像を拡大し、表示位置を調整することもできます。

チェック

・お気に入りの画像をカレンダーや時計と組み合わせて表示するには「お気に入り画面を登録する」（→ 28 ページ）をご覧ください。
・再生順を切り替えるには「表示関連の設定をする」（→ 38 ページ）をご覧ください。

インデックス画面を表示する

1 **インデックス**ボタンを押して、インデックス画面を表示します。
インデックス画面（4 × 3 枚表示）が表示されます。

インデックス画面（6 × 5 枚表示）に切り替えるときは**モード切替**ボタンを押します。

インデックス画面の表示モードについて

モード切替ボタンを押すたびに表示が切り替わります。

インデックス画面（4 × 3 枚表示） **インデックス画面（6 × 5 枚表示）**

1 画面に 12 枚の画像が表示されます。 1 画面に 30 枚の画像が表示されます。

メモ

・インデックス画面の右上に表示されている数字（0001/0002 など）は、（画面番号 / 画面総数）を表します。例えば、0001/0002 が表示されているときは、インデックス画面が２画面あり、その１番目のインデックス画面が表示されていることを表しています。

画像を表示する（1 枚表示）

1 **インデックス**ボタンを押して、インデックス画面を表示します。

2 ▲、▼、◀、▶で画像を選び、**決定**ボタンを押します。
1 枚表示画面（通常）が表示されます。

メモ
・インデックス画面に戻すときは、**戻る**ボタンを押します。
・メニュー画面に戻るとき：**メニュー**ボタンを押します。

チェック
・別のメモリー（メモリーカード／内蔵メモリー）の画像を見るときは、「再生メモリーを切り替える」（→ 40 ページ）の操作をしてください。

1 枚表示画面の表示モードについて

モード切替ボタンを押すたびに表示が切り替わります。

1 枚表示画面（通常）

1 枚表示画面（詳細情報表示）

内蔵メモリー 0001/0041
画像ｻｲｽﾞ ：800×480
ﾌｧｲﾙｻｲｽﾞ ：330KB
日付 ：2007/05/22
ﾌｧｲﾙ名 ：PIC00008.JPG
ﾒｰｶｰ名 ：FUJIFILM
機種名 ：FinePix A900

画像サイズ、日付、ファイル名などが表示されます。

メモ
・1 枚表示画面（詳細情報表示）で表示される情報の種類は、画像によって異なります。
・詳細情報を表示しているときは、画像の拡大や回転ができません。

■ 画像を拡大するには

拡大ボタンを押し、必要に応じて▲、▼、◀、▶で表示位置を調整します。
元のサイズに戻すときは**縮小**ボタンを押します。

メモ

- 画像の拡大は 2 段階になります。
- 縮小は元のサイズまでになります。

■ 画像を回転するには

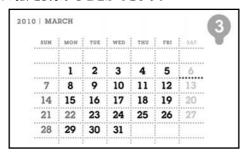
回転ボタンを押します。
1 回押すごとに、画像が時計回り（右回り）に 90° ずつ回転します。

メモ

- 画像を回転させると、スライドショーでも回転させた向きで画像が表示されます。
- 画像の向き（縦表示、横表示）は、本製品に記録されます。ただし、AC アダプターを抜いたときは、もとに戻ります。
- 画像の拡大表示をしているときは、画像の回転はできません。

カレンダー・時計を表示する

本製品に、カレンダーや時計を表示することができます。

カレンダー表示の一例

画像とカレンダー・時計を組み合わせて表示するときは、「カレンダー・時計を画像と組み合わせて表示する」（→ 27 ページ）をご覧ください。

チェック

・カレンダーや時計を表示する前に、必ず日付と時刻を設定してください。日付と時刻の設定については、「時計を設定する」（→ 16 ページ）をご覧ください。

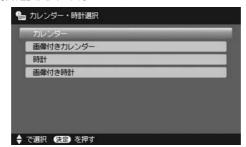
カレンダー・時計を画像なしで表示する

1 **時計**ボタンを押します。
カレンダー・時計選択画面が表示されます。

2 ▲、▼で**カレンダー**または**時計**を選び、**決定**ボタンを押します。

3 ▲、▼で好みのデザインパターンを選び、**決定**ボタンを押します。

カレンダー・時計を画像と組み合わせて表示する

1 **時計**ボタンを押します。
カレンダー・時計選択画面が表示されます。

2 ▲、▼で**画像付きカレンダー**または**画像付き時計**を選び、**決定**ボタンを押します。

3 ▲、▼で好みのデザインパターンを選び、**決定**ボタンを押します。

4 ▲、▼、◀、▶で好みの画像を選び、**決定**ボタンを押してチェックマークを付けます。

5 **メニュー**ボタンを押し、▲、▼で**実行**を選び、**決定**ボタンを押します。

チェック

- 好みの画像をカレンダーや時計と組み合わせ、お気に入り画面として登録することができます。お気に入り画面の登録については「お気に入り画面を登録する」（→ 28 ページ）をご覧ください。

メモ

- ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。
- メニュー画面に戻るとき：**メニュー**ボタンを押します。
- カレンダー・時計選択画面はメニュー画面から表示することもできます。

お気に入り画面を登録する

内蔵メモリーの中から好みの画像を選んで、お気に入り画面として登録することができます。登録した画像は、メニュー画面を表示して一定時間操作しなかったとき、または電源をオンにしたときに表示されます。お気に入り画面は 1 枚表示の設定で表示したり、カレンダー・時計と組み合わせて表示したりすることができます。

チェック

- 画像をお気に入り画面に登録するには、内蔵メモリーを再生メモリーに設定してください。再生メモリーの切り替えについては、「再生メモリーを切り替える」（→ 40 ページ）をご覧ください。
- お気に入り画面に登録できる画像は 1 枚だけです。
- お気に入り画面が解除されると、メニュー画面を表示して一定時間操作しなかったとき、または電源をオンにしたときに、スライドショーが表示されます。

お気に入り画面に登録する（1 枚表示）

1 **インデックス**ボタンを押して、インデックス画面を表示します。

2 ▲、▼、◀、▶で画像を選び、**決定**ボタンを押します。
1 枚表示画面（通常）が表示されます。

3 リモコンの**便利メニュー**ボタンを押します。

4 **お気に入り画面に登録**が選ばれていることを確認して、**決定**ボタンを押します。
「お気に入り画面に登録しました」と表示が出て、登録した画面が表示されます。

お気に入り画面を解除する（1 枚表示）

1 **インデックス**ボタンを押して、インデックス画面を表示します。

2 ▲、▼、◀、▶で画像を選び、**決定**ボタンを押します。
1 枚表示画面（通常）が表示されます。

3 リモコンの**便利メニュー**ボタンを押します。

4 **お気に入り画面の登録を解除**が選ばれていることを確認して、**決定**ボタンを押します。
「お気に入り画面の登録を解除しました」と表示が出て、自動的に **2** の画面に戻ります。

お気に入り画面に登録する（カレンダー・時計表示）

1 カレンダー・時計が表示されている状態で、リモコンの**便利メニュー**ボタンを押します。

2 **お気に入り画面に登録**が選ばれていることを確認して、**決定**ボタンを押します。
「お気に入り画面に登録しました」と表示が出て、登録した画面が表示されます。

お気に入り画面を解除する（カレンダー・時計表示）

1 お気に入り画面が表示されている状態で、リモコンの**便利メニュー**ボタンを押します。

2 **お気に入り画面の登録を解除**が選ばれていることを確認して、**決定**ボタンを押します。
「お気に入り画面の登録を解除しました」と表示が出て、解除前の画面に戻ります。

省エネモードの設定をする

本製品の省エネモードの設定をします。
省エネモードを ON に設定することで、明るさセンサーが働き、周囲の明るさに合わせて液晶画面の明るさを変えます。また、周囲が暗くなったときは、約 3 分後に自動的に電源がオフになります。
工場出荷時：OFF

1 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2 ◀、▶で**設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
各種設定画面が表示されます。

3 ▲、▼で**省エネモード**を選び、**決定**ボタンを押します。

4 **ON** または **OFF** を選び、**決定**ボタンを押します。

チェック

- 各種設定起動中や赤外線通信起動中、USB 接続中は自動電源 OFF 機能は働きません。
- 本棚などの薄暗い場所に設置しているときに、省エネモードに設定すると自動的に電源がオフになる場合があります。そのようなときは、省エネモードを OFF に設定してください。
- 省エネモードで電源がオフになったときは、設置場所が明るくなっても自動的に電源がオンにはなりません。

メモ

- 省エネモードで電源がオフになったときも、直前の画像およびモードを記憶しているため、次に電源がオンになったときに再表示（スライドショーの場合は続きから表示）することができます。
- ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。
- メニュー画面に戻るとき：**メニュー**ボタンを押します。

ファイルの管理をする

内蔵メモリーのファイルをメモリーカードにコピーしたり、内蔵メモリー内でファイルの移動や消去をしたりすることができます。
また、内蔵メモリーには工場出荷時に 10 個のフォルダが作成されています。家族写真はフォルダ 1 に保存、風景写真はフォルダ 2 に保存というように使い分けることで、画像を分かりやすく整理できます。
フォルダ絞り込み機能（→ 41 ページ）により、スライドショーやインデックス画面などで表示する画像をフォルダ単位で絞り込むこともできます。

チェック

・再生順を切り替えるには「表示関連の設定をする」（→ 38 ページ）をご覧ください。
・メモリーカードのファイルを内蔵メモリーにコピーするときは、21 ページをご覧ください。

内蔵メモリーのファイルをメモリーカードにコピーする

使用するメモリーカードを入れておいてください（→ 17 ページ）。

1 「メモリーカードのファイルを内蔵メモリーにコピーする」（→ 21 ページ）の手順 1 ～ 3 の操作でファイルの管理メニューを表示します。

2 ▲、▼で**内蔵メモリーからコピー**を選び、**決定**ボタンを押します。

3 コピーするファイルを選択します。

▲、▼、◀、▶でファイルを選び、**決定**ボタンを押してチェックマークを付けます。
同じ操作をくり返し、コピーするすべてのファイルにチェックマークを付けます。
全画像をコピーするときは**メニュー**ボタンを押して項目を移動し、「すべて選択」を選んでチェックマークを付けます。

4 **メニュー**ボタンを押して▲、▼で**実行**を選び、**決定**ボタンを押します。
コピー先選択画面が表示されます。

5 ▲、▼でコピー先のメモリーカードを選び、**決定**ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

6 ▲、▼で**はい**を選び、**決定**ボタンを押します。
選んだファイルがメモリーカードにコピーされます。
「コピー中→コピーしました」と表示が出て、自動的に **1** の画面に戻ります。

メモ

- ファイルをコピーすると、コピー先のメモリーカード内に「DP-700SH」フォルダが作成され、その中にファイルが保存されます。
- ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。
- メニュー画面に戻るとき：**メニュー**ボタンを押します。

注意

- コピー中は、電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。機器やメモリーカード、データが破損する恐れがあります。

内蔵メモリーのファイルを消去する

1 「メモリーカードのファイルを内蔵メモリーにコピーする」（→ 21 ページ）の手順 1 ～ 3 の操作でファイルの管理メニューを表示します。

2 ▲、▼で**内蔵メモリーのファイルを消去**を選び、**決定**ボタンを押します。

3 消去するファイルを選択します。

▲、▼、◀、▶でファイルを選び、**決定**ボタンを押してチェックマークを付けます。
同じ操作をくり返し、消去するすべてのファイルにチェックマークを付けます。
全画像を消去するときは**メニュー**ボタンを押して項目を移動し、「すべて選択」を選んでチェックマークを付けます。

4 **メニュー**ボタンを押して▲、▼で**実行**を選び、**決定**ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

5 ▲、▼で**はい**を選び、**決定**ボタンを押します。
選んだファイルが内蔵メモリーから消去され、自動的に **1** の画面に戻ります。

メモ
- ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。
- メニュー画面に戻るとき：**メニュー**ボタンを押します。

チェック
- 内蔵メモリーの空き容量は、「本体情報の表示」（→ 38 ページ）で確認できます。
- デモ画像を消去するときは、DEMO_01 から DEMO_29 までの DEMO_ で始まる名前のファイルを消去します。

注意
- 消去したデータは、元に戻せません。

内蔵メモリーのファイルを移動する

1 「メモリーカードのファイルを内蔵メモリーにコピーする」（→ 21 ページ）の手順 1 ～ 3 の操作でファイルの管理メニューを表示します。

2 ▲、▼で**内蔵メモリーのファイルを移動**を選び、**決定**ボタンを押します。
フォルダ選択画面が表示されます。

3 ▲、▼で移動するファイルが保存されているフォルダを選び、**決定**ボタンを押します。

4 移動するファイルを選択します。

▲、▼、◀、▶でファイルを選び、**決定**ボタンを押してチェックマークを付けます。
同じ操作をくり返し、移動するすべてのファイルにチェックマークを付けます。
全画像を移動するときは**メニュー**ボタンを押して項目を移動し、「すべて選択」を選んでチェックマークを付けます。

5 **メニュー**ボタンを押して▲、▼で**実行**を選び、**決定**ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

6 ▲、▼で**はい**を選び、**決定**ボタンを押します。

7 ▲、▼で移動先のフォルダを選び、**決定**ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

8 ▲、▼で**はい**を選び、**決定**ボタンを押します。
選んだファイルが指定したフォルダに移動します。
「移動中→移動しました」と表示が出て、自動的に **1** の画面に戻ります。

メモ
- ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。
- メニュー画面に戻るとき：**メニュー**ボタンを押します。

注意
- データの移動中は、電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。機器やメモリーカード、データが破損する恐れがあります。

コピー対象メモリーカードの切替

２種類のメモリーカードが挿入されているときに、ファイルの管理メニューで対象となるメモリーカードを切り替えます。

1 「メモリーカードのファイルを内蔵メモリーにコピーする」（→ 21 ページ）の手順 1 ～ 3 の操作でファイルの管理メニューを表示します。

2 ▲、▼で**コピー対象メモリーカードの切替**を選び、**決定**ボタンを押します。

3 ▲、▼でメモリーカードを選び、**決定**ボタンを押します。

内蔵メモリーにコピー時の画像サイズ

画像を内蔵メモリーにコピーするときに、圧縮して容量を小さくしてコピーするか、非圧縮でそのままの状態でコピーするかを設定します。
圧縮する場合は、本製品の再生に適したサイズに変更されます。このとき、撮影時のカメラの情報などは、失われます。
非圧縮の場合は、画質の劣化はありません。しかし、ファイル容量が大きいため、圧縮する場合と比べて、保存できる画像の枚数が減ります。
工場出荷時：圧縮

1 「メモリーカードのファイルを内蔵メモリーにコピーする」（→ 21 ページ）の手順 1 ～ 3 の操作でファイルの管理メニューを表示します。

2 ▲、▼で**内蔵メモリーへのコピーサイズ**を選び、**決定**ボタンを押します。

3 ▲、▼で**圧縮**または**非圧縮**を選び、**決定**ボタンを押します。

メモ
- ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。
- メニュー画面に戻るとき：**メニュー**ボタンを押します。
- コピーする画像のサイズが 1,600 × 960 ドット以下の場合は、そのままコピーされます。
- 圧縮、非圧縮にかかわらず、ファイル名が書きかわることがあります。

赤外線受信画像の自動保存

赤外線通信で通信する（→ 52 ページ）ときに、受信した画像を自動で保存するかどうかを設定できます。
しないに設定すると、赤外線通信で通信するときに、確認画面が表示されます。
工場出荷時：する

1. 「メモリーカードのファイルを内蔵メモリーにコピーする」（→ 21 ページ）の手順 1 〜 3 の操作でファイルの管理メニューを表示します。
2. ▲、▼で**赤外線受信画像の自動保存**を選び、**決定**ボタンを押します。
3. ▲、▼で**する**または**しない**を選び、**決定**ボタンを押します。

メモ
- 赤外線通信で受信した画像は、内蔵メモリーの「赤外線受信フォルダ」に保存されます。
- ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。
- メニュー画面に戻るとき：**メニュー**ボタンを押します。

赤外線受信画像保存時の画像サイズ

赤外線通信で受信した画像を保存するときに、圧縮して容量を小さくして保存するか、非圧縮でそのままの状態で保存するかを設定します。
圧縮する場合は、本製品の再生に適したサイズに変更されます。このとき、撮影時のカメラの情報などは、失われます。
非圧縮の場合は、画質の劣化はありません。しかし、ファイル容量が大きいため、圧縮する場合と比べて、保存できる画像の枚数が減ります。
工場出荷時：圧縮

1. 「メモリーカードのファイルを内蔵メモリーにコピーする」（→ 21 ページ）の手順 1 〜 3 の操作でファイルの管理メニューを表示します。
2. ▲、▼で**赤外線受信画像の保存サイズ**を選び、**決定**ボタンを押します。
3. ▲、▼で**圧縮**または**非圧縮**を選び、**決定**ボタンを押します。

メモ
- ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。
- メニュー画面に戻るとき：**メニュー**ボタンを押します。
- 保存する画像のサイズが 1,600 × 960 ドット以下の場合は、そのまま保存されます。

スライドショーの設定をする

スライドショーの画像の切替間隔、切替時のエフェクト（効果）を変更できます。

1 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2 ◀、▶で**設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
各種設定画面が表示されます。

3 ▲、▼で**スライドショーの設定**を選び、**決定**ボタンを押します。

4 ▲、▼で設定する項目を選び、**決定**ボタンを押します。
詳しくは下表をご覧ください。

5 ▲、▼で設定を選び、**決定**ボタンを押します。

メモ
- ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。
- メニュー画面に戻るとき：**メニュー**ボタンを押します。

項目	設定	工場出荷時
切替間隔の設定	5 秒／ 10 秒／ 30 秒／ 1 分／ 5 分／ 30 分／ 1 時間／ 3 時間／ 12 時間／ 24 時間	5 秒
エフェクトの設定	なし／ランダム／フェード／ズーム／スクロール／ワイプ／プッシュ／スライド／エクスパンド／グリッド	フェード

メモ
- エフェクトの設定では、画像が切り替わるときの、さまざまな効果が選べます。
- 切替間隔の設定は、おおよその時間です。例えば、**5 秒**の設定のときは、約 5 秒になります。

表示関連の設定をする

液晶画面のバックライトの明るさを調整したり、全画面表示の ON/OFF、画像の再生順、縦置き／横置きの自動判別、画像の表示画質を設定したり、内蔵メモリーの空き容量を確認したりできます。

1 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2 ◀、▶で**設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
設定画面が表示されます。

3 ▲、▼で**表示の設定**を選び、**決定**ボタンを押します。

4 ▲、▼で設定する項目を選び、**決定**ボタンを押します。
詳しくは次ページの表をご覧ください。

5 設定を選び、**決定**ボタンを押します。

メモ
- ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。
- メニュー画面に戻るとき：**メニュー**ボタンを押します。

項目	設定	工場出荷時
バックライトの明るさ	1 〜 10 数字が大きいほど明るくなります。	5
全画面表示	ON/OFF 全画面表示は、画像を画面中央にあわせて、余白がなくなるまで拡大して表示します。ただし、画面からはみ出した部分は、表示されません。	OFF
再生順の設定	古い順／新しい順／ランダム	古い順
画像の縦横自動判別	ON/OFF 撮影時に画像に記録される撮影方向の情報を読み取って、画像の方向を自動的に判別します。	ON
設置の縦横自動判別	ON/OFF 本製品に内蔵の縦横自動判別センサーで本体の傾斜角度を感知し、自動的に縦置き／横置きの画面表示を切り替えます。	ON
画質設定	標準／鮮やか	標準
本体情報の表示	内蔵メモリーの残量またはバージョンが表示されます。	

メモ

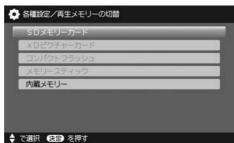
- バックライトの明るさは、省エネモード設定中は、変更できません。変更する場合は、「省エネモードの設定をする」（→ 31 ページ）の操作で省エネモードの設定を **OFF** にしてください。
- 全画面表示を **ON** に設定していても、横長の画像を縦置きで表示する場合や縦長の画像を横置きで表示する場合などは余白が残ります。
- 撮影したカメラによっては、撮影方向の情報が記録されていない場合もあります。
- 再生順の設定ではスライドショーやインデックス画面、ファイル管理画面などで表示される画像を並べ替えることができます。古い順に設定したときはファイルの更新日時が古い順に、新しい順に設定したときはファイルの更新日時が新しい順に並べ替えられます。

再生メモリーを切り替える

データを読み込むメモリー（メモリーカード／内蔵メモリー）に切り替えることができます。
工場出荷時：内蔵メモリー

1 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2 ◀、▶で**設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
各種設定画面が表示されます。

3 ▲、▼で**再生メモリーの切替**を選び、**決定**ボタンを押します。

4 ▲、▼でいずれかのメモリーカード／内蔵メモリーを選び、**決定**ボタンを押します。

チェック

- 画面は、SD メモリーカードのみが入った状態の例です。
- 挿入されているメモリーカードのみ選択できます。

メモ

- ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。
- メニュー画面に戻るとき：**メニュー**ボタンを押します。
- スライドショーまたはインデックス表示中にリモコンの**便利メニュー**ボタンを使って切り替えることもできます。

フォルダ絞り込み機能を使う

スライドショーやインデックス画面、カレンダー・時計表示、ファイル管理画面などで画像を選択するときに、対象となる画像をフォルダ単位で絞り込むことができます。

チェック

・絞り込み対象として選択できるフォルダは、画像が保存されているフォルダのみです。

フォルダを絞り込む

■ インデックス画面で絞り込む

1 **インデックス**ボタンを押して、インデックス画面を表示します。

2 **絞り込み**ボタンを押します。
画像が保存されているフォルダ名と保存枚数の一覧が表示されます。

3 ▲、▼でフォルダを選び、**決定**ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

4 ▲、▼で**はい**を選び、**決定**ボタンを押します。
インデックス画面の上部に「絞り込み中」と表示され、絞り込んだフォルダ内のデータが表示されます。

■ ファイル管理画面で絞り込む

1 「メモリーカードのファイルを内蔵メモリーにコピーする」（→ 21 ページ）の手順 1 〜 3 の操作でファイルの管理メニューを表示します。

2 ▲、▼で**内蔵メモリーにコピー、内蔵メモリーからコピー**、**内蔵メモリーのファイルを消去**のいずれかを選び、**決定**ボタンを押します。

3 **メニュー**ボタンを押して、▲、▼で**絞り込み**を選び、**決定**ボタンを押します。
画像が保存されているフォルダ名と保存枚数の一覧が表示されます。

4 ▲、▼でフォルダを選び、**決定**ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

5 ▲、▼で**はい**を選び、**決定**ボタンを押します。
ファイル管理画面の上部に「絞り込み中」と表示され、絞り込んだフォルダ内のデータが表示されます。

■ 設定メニューから絞り込む

1 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2 ◀、▶で**設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
各種設定画面が表示されます。

3 ▲、▼で**写真の絞り込み**を選び、**決定**ボタンを押します。

4 ▲、▼でフォルダを選び、**決定**ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

5 ▲、▼で**はい**を選び、**決定**ボタンを押します。
フォルダが絞り込まれ、自動的に **2** の画面に戻ります。

チェック
・画面上の「絞り込み中」の表示は、フォルダが絞り込まれている状態であることを表しています。

フォルダの絞り込みを解除する

■ 絞り込みボタンで解除する

1 絞り込み中に**絞り込み**ボタンを押します。

2 ▲、▼で**すべて**を選び、**決定**ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

3 ▲、▼で**はい**を選び、**決定**ボタンを押します。
フォルダの絞り込みが解除されます。

■ 設定メニューから解除する

1 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2 ◀、▶で**設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
各種設定画面が表示されます。

3 ▲、▼で**写真の絞り込み**を選び、**決定**ボタンを押します。

4 ▲、▼で**すべて**を選び、**決定**ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

5 ▲、▼で**はい**を選び、**決定**ボタンを押します。
フォルダの絞り込みが解除され、自動的に 2 の画面に戻ります。

タイマーを設定する

タイマーを設定することで、省エネルギーに配慮した使い方ができます。例えば、午前７時に ON タイマーで電源をオンにして、午後 9 時に OFF タイマーで電源をオフにすると、午後９時から翌朝の午前７時までは電源がオフになっているので、電気代を節約できます。

メモ：タイマーを設定する前に時計を設定しましょう

・「時計を設定する」（→ 16 ページ）をご覧ください。

タイマーを設定する

2 種類のタイマーを使えます。

ON タイマー	予約した時刻になると、自動的に電源がオンになり、スライドショーなど画像の表示が始まります。
OFF タイマー	予約した時刻になると、自動的に電源がオフになります。

ここでは ON タイマーを例に説明します。
OFF タイマーも基本的な操作のしかたは同じです。

■ タイマーの ON/OFF（入／切）を設定する

工場出荷時：OFF

1. **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. ◀、▶で**設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
   各種設定画面が表示されます。
3. ▲、▼で**時計／タイマーの設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
   各種設定／時計／タイマーの設定画面が表示されます。

4. ▲、▼で**タイマーの設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
   各種設定／タイマーの設定画面が表示されます。
5. ▲、▼で **ON タイマーの設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
   OFF タイマーの設定をするときは **OFF タイマーの設定**を選びます。
6. ▲、▼で **ON** または **OFF** を選び、**決定**ボタンを押します。

チェック

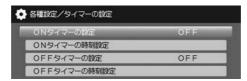
・各種設定起動中や赤外線通信起動中、USB 接続中は OFF タイマー機能は働きません。

メモ

・ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。
・メニュー画面に戻るとき：**メニュー**ボタンを押します。
・タイマーで電源がオフになったときも、直前の画像およびモードを記憶しているため、次に電源がオンになったときに再表示（スライドショーの場合は続きから表示）することができます。

■ タイマーの予約時刻を設定する

1 「タイマーのON/OFF(入／切)を設定する」(→45ページ)の手順１～３の操作で、各種設定／時計／タイマーの設定画面を表示します。

2 ▲、▼で**タイマーの設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
各種設定／タイマーの設定画面が表示されます。

3 ▲、▼で **ON タイマーの時刻設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
OFF タイマーの設定をするときは **OFF タイマーの時刻設定**を選びます。

4 設定する項目（時、分）を◀、▶で選択し、▲、▼で変更し、**決定**ボタンを押します。

メモ
・ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。
・メニュー画面に戻るとき：**メニュー**ボタンを押します。

記念日表示の設定をする

記念日表示を設定すると、設定された日時にお好みの画像とメッセージを表示して記念日をお知らせします。
選択できるメッセージは下記の 10 種類です。

- 結婚記念日♥
- 卒業おめでとう
- お誕生日おめでとう
- 入学おめでとう
- いつもありがとう
- Happy Birthday!
- Merry Christmas!
- Thank You
- I Love You
- Happy Anniversary!

メモ

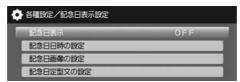
- 記念日表示中は、省エネモードの自動電源 OFF 機能や OFF タイマー機能は使用できません。
- 記念日表示が終了すると、記念日表示の設定は自動的に **OFF** になります。
- 記念日表示の各設定は、AC アダプターを抜いても保持されます。
- 記念日表示前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。
- メニュー画面に戻るとき：**メニュー**ボタンを押します。

記念日表示の設定をする

1 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2 ◀、▶で**設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
各種設定画面が表示されます。

3 ▲、▼で**時計／タイマーの設定**を選び、**決定**ボタンを押します。

4 ▲、▼で**記念日表示の設定**を選び、**決定**ボタンを押します。

5 ▲、▼で**記念日表示**を選び、**決定**ボタンを押します。

6 ▲、▼で **ON** を選び、**決定**ボタンを押します。

記念日日時の設定をする

1 「記念日表示の設定をする」（→ 47 ページ）の手順 1 〜 4 の操作で記念日表示の設定メニューを表示します。

2 ▲、▼で**記念日日時の設定**を選び、**決定**ボタンを押します。

3 設定する項目（年、月、日、時、分、秒）を◀、▶で選択し、▲、▼で変更して、**決定**ボタンを押します。
記念日日時が設定されます。
ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。

記念日画像の設定をする

1 「記念日表示の設定をする」（→ 47 ページ）の手順 1 〜 4 の操作で記念日表示の設定メニューを表示します。

2 ▲、▼で**記念日画像の設定**を選び、**決定**ボタンを押します。

3 ▲、▼、◀、▶で画像を選び、**決定**ボタンを押してチェックマークを付けます。

4 **メニュー**ボタンを押し、▲、▼で**実行**を選び、**決定**ボタンを押します。
ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。

チェック

・表示できる画像は内蔵メモリーに保存されているもののみです。
・記念日画像選択画面で表示する画像をフォルダ単位で絞り込むことができます（→ 41 ページ）。

記念日定型文の設定をする

1 「記念日表示の設定をする」（→ 47 ページ）の手順 1 ～ 4 の操作で記念日表示の設定メニューを表示します。

2 ▲、▼で**記念日定型文の設定**を選び、**決定**ボタンを押します。

3 ▲、▼で好みのメッセージを選び、**決定**ボタンを押します。
ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。

記念日表示の設定を解除する

1 「記念日表示の設定をする」（→ 47 ページ）の手順 1 ～ 5 の操作で記念日表示の設定画面を表示します。

2 ▲、▼で **OFF** を選び、**決定**ボタンを押します。

いろいろな機能を使う

初期化について

本製品を工場出荷時の状態に戻すときは、以下の操作で初期化できます。

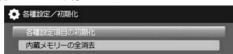
各種設定項目の初期化	変更した設定の値がすべて工場出荷時の状態に戻ります。
内蔵メモリーの全消去	内蔵メモリーに保存したデータがすべて消去されます。

注意

- **内蔵メモリーの全消去**を実行すると、本製品に保存したデータはすべて消去されます。誤ってデータを消去すると元には戻せません。消去したくないデータは、あらかじめメモリーカードなどにコピーしておいてください。
- 消去中は、電源をオフにしないでください。機器やデータが破損する恐れがあります。

1 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2 ◀、▶で**設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
各種設定画面が表示されます。

3 ▲、▼で**設定**／**内蔵メモリーの初期化**を選び、**決定**ボタンを押します。
各種設定／初期化メニューが表示されます。

4 ▲、▼で初期化の種類を選び、**決定**ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

5 ▲、▼で**はい**を選び、**決定**ボタンを押します。
選んだ初期化が実行されます。

設定メニュー（初期値一覧表）

設定内容			初期値
省エネモード			OFF
ファイルの管理	内蔵メモリーにコピー		
	内蔵メモリーからコピー		
	内蔵メモリーのファイルを消去		
	内蔵メモリーのファイルを移動		
	コピー対象メモリーカードの切替		
	内蔵メモリーへのコピーサイズ		圧縮
	赤外線受信画像の自動保存		する
	赤外線受信画像の保存サイズ		圧縮
スライドショーの設定	切替間隔の設定		5 秒
	エフェクトの設定		フェード
表示の設定	バックライトの明るさ		５
	全画面表示		OFF
	再生順の設定		古い順
	画像の縦横自動判別		ON
	設置の縦横自動判別		ON
	画質設定		標準
	本体情報の表示		
再生メモリーの切替			内蔵メモリー
写真の絞り込み			
時計／タイマーの設定	日付時刻の設定		
	タイマーの設定	ON タイマーの設定	OFF
		ON タイマーの時刻設定	
		OFF タイマーの設定	OFF
		OFF タイマーの時刻設定	
	記念日表示の設定	記念日表示	OFF
		記念日日時の設定	
		記念日画像の設定	
		記念日定型文の設定	結婚記念日
設定／内蔵メモリーの初期化	各種設定項目の初期化		
	内蔵メモリーの全消去		

赤外線通信で通信する

デジタルカメラや携帯電話からの画像を受信する

赤外線通信機能を持つデジタルカメラや携帯電話から本製品に画像を送信して、画像を表示したり、内蔵メモリーに保存したりできます。

対応する赤外線通信規格について

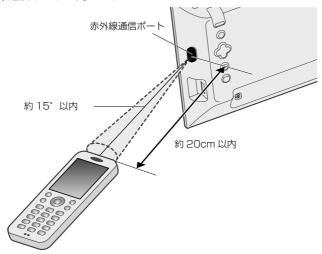
- IrSS、IrSimple のいずれかに対応している必要があります。ただし、使用する相手の機器によっては、対応する通信機能を搭載していても通信できない場合があります。
- vNote 形式のデータ通信には対応していません。

1 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2 ◀、▶で**赤外線通信**を選び、**決定**ボタンを押します。
赤外線通信待ち受け画面が表示されます。

メモ

- 待ち受け画面は、約 3 分経過すると、メニュー画面に戻ります。データ送受信の前にメニュー画面に戻ってしまったときは、再度待ち受け画面を表示させてください。

3 本体背面の赤外線通信ポートに、通信する機器（デジタルカメラや携帯電話）の赤外線通信ポートを向けます。

ポート同士の角度は上下左右 15° 以内に保ち、機器間は 5 ～ 20cm 離します。

4 通信する機器から画像を送信します。

詳しくは機器のマニュアルを参照してください。
通信が開始されると「データ受信中」と表示され、続いて通信が確立すると「データ展開中」と表示されます。
しばらくすると本製品の画面に受信データ（画像）が表示されます。
赤外線通信で受信した画像は、内蔵メモリーの「赤外線受信フォルダ」に保存されます。

赤外線受信画像の自動保存をしないに設定したときは

①「保存する場合は決定を押す」と表示されるので、**決定**ボタンを押します。

▲、▼で**はい**を選び、**決定**ボタンを押します。

② **戻る**と表示されるので、**決定**ボタンを押します。赤外線通信待ち受け画面に戻ります。

メモ

- 工場出荷時は赤外線通信画像の自動保存が**する**になっています。
  設定については、「赤外線受信画像の自動保存」（→ 36 ページ）をご覧ください。
- 赤外線受信画像の保存サイズの設定については、「赤外線受信画像保存時の画像サイズ」（→ 36 ページ）をご覧ください。

いろいろな機能を使う

5 続けて送信するときは、そのまま再度送信します。通信を終了するときは、**戻る**ボタンを押します。

メモ

・メニュー画面に戻るとき：**メニュー**ボタンを押します。

注意

・うまくいかないときは、機器の間に障害物がないこと、赤外線通信ポートが正しく向き合っていることを確認してください。
・直射日光の下、または蛍光灯の真下で赤外線通信をしないでください。
・テレビやビデオのリモコンなど他の赤外線通信機器や、ノイズを発生する機器が近くにあると、正しく通信できないことがあります。

パソコンと USB で接続する

本製品とパソコンを USB ケーブルで接続すると、内蔵メモリーのデータをパソコンで見たり、データをコピーしたり、内蔵メモリーのフォルダ数を変更したりすることができます。

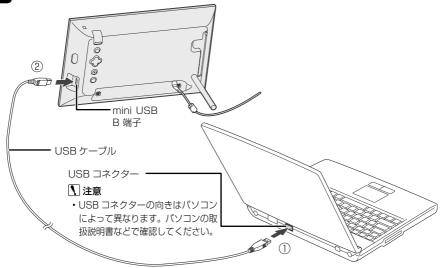
対応するパソコンの動作環境について

OS	Windows 7 32bit 版／ 64bit 版 Windows Vista（SP1 以上）32bit 版 Windows XP HomeEdition（SP2 以上）32bit 版 Windows XP Professional（SP2 以上）32bit 版 Windows 2000（SP4 以上）32bit 版	・左記の OS がプレインストールされたモデル。 ・自作パソコンやOSをアップグレードしたパソコンは動作保証外です。
端子	USB ポートは、パソコン本体標準の USB ポートをご使用ください。	パソコン本体標準以外の USB ポートは、動作保障外です。

パソコンと接続してデータをやりとりする

チェック

- パソコンとの接続には、市販の USB ケーブル（A―miniB プラグタイプ）が必要です。
- USB ケーブルは、プラグの向きを確認し、端子の奥まで確実に差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由せずに、直接パソコンと接続してください。

1 メニュー画面を表示した状態でパソコンと接続します。

2 パソコンの画面に「自動再生」ウィンドウが表示されたら､「フォルダを開いてファイルを表示する」をダブルクリックします。
「自動再生」ウィンドウが表示されないときは、「マイコンピュータ」からリムーバブルディスクを選んで開きます。

3 データのコピーなどを終了したら、「ハードウェアの安全な取り外し」の操作をして、接続を外します。

注意

- 通信中は、USB ケーブルを抜かないでください。データが破損する恐れがあります。
- 各種設定起動中や、赤外線通信の起動中は、USB 接続をしないでください。USB 接続するときは、メニュー画面を表示した状態で、USB ケーブルを接続してください。
- 内蔵メモリーをパソコンなどの他の機器を使って初期化（フォーマット）しないでください。

メモ

- USB ケーブルで接続できるのはパソコンだけです。デジタルカメラなど他の機器は接続できません。
- 内蔵メモリーのフォルダ数を変更するときは、本製品とパソコンを接続し、パソコンから操作して、内蔵メモリーに新規フォルダを作成するか、既存のフォルダを削除してください。
- パソコンとの接続中は、本製品の操作はできません。本製品を操作するときは、パソコンとの接続を解除してください。
- 初めてパソコンと接続するときは、パソコンでの認識に時間がかかることがあります。
- 本製品は、パソコンと接続してメモリーカードリーダーとしては、使用できません。

お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

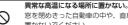
このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。
・ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
・お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。	
⚠ 警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。	
⚠	このような絵表示は､気をつけていただきたい｢注意喚起｣内容です。
⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警　告	
電源プラグを抜く	**異常が起きたら電源をオフにし、電池や AC アダプターを外す。** 煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ・お買上げ店にご相談ください。
水ぬれ禁止	**内部に水や異物を落とさない。** 水・異物が内部に入ったら、電源をオフにし、電池や AC アダプターを外す。 そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。 ・お買上げ店にご相談ください。
風呂、シャワー室での使用禁止	**風呂、シャワー室では使用しない。** 火災・感電の原因になります。
分解禁止	**分解や改造は絶対にしない (ケースは絶対に開けない)。落としたり、ケースが破損したときは使用しない。** 火災・感電の原因になります。 ・お買上げ店にご相談ください。
	接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。 コードに傷がついて、火災感電の原因になります。 ・コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。
⊘	**不安定な場所に置かない。** バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。
⊘	**雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。** 落雷すると誘電雷により感電の原因になります。
⊘	**指定外の方法で電池を使用しない。** 極性 (⊕⊖) 表示どおりに入れてください。
⊘	**電池を分解、加工、加熱しない。** **電池を落としたり、衝撃を加えない。** **電池をショートさせない。** **電池を金属製品と一緒に保管しない。** 電池の破裂･液漏れにより、火災･けがの原因になります。
⊘	**指定外の電池や AC アダプターを使用しない。** 表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。 火災の原因になります。
⊘	**液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。**

⚠ 警　告	
	電池は、乳幼児に触れさせないこと。 電池は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
	メモリーカードは、乳幼児に触れさせないこと。 メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注　意	
⊘	**油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。** 火災・感電の原因になることがあります。
⊘	**異常な高温になる場所に置かない。** 窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。 火災の原因になることがあります。
⊘	**小さいお子様の手の届くところに置かない。** けがの原因になることがあります。
⊘	**本製品の上に重いものを置かない。** バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。
⊘	**AC アダプターを接続したまま移動しない。AC アダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。** 電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
⊘	**電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。** 火災・感電の原因になることがあります。
⊘	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。** 感電の原因になります。
⊘	**本製品やACアダプターを布や布団でおおったりしない。** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。
⊘	**液晶画面は、傷が付きやすいので、先のとがったもの（シャープペンシル、ボールペンなど）で液晶画面をたたいたり、ひっかいたりしない**
❗	**お手入れの際や長時間使用しないときは、電池や AC アダプターを外し、電源プラグを抜く。** 火災・感電の原因になることがあります。

電源についてのご注意

※ご使用になる電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池を上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池の寿命が短くなるばかりか、液もれ、発熱・発火の恐れがあります。

危険ですので、次のことにご注意ください

⚠ 火気に近づけたり、火中に投げ込んだりしないでください。

⚠ 分解したり、改造したりしないでください。

・強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
・水にぬらさないようご注意ください。
・端子は常にきれいにしておいてください。
・長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、使用していると、本体が熱を帯びますが、故障ではありません。

■ AC アダプターについてのご注意

必ず付属の AC アダプター（JEITA 規格、極性統一形プラグ付）をお使いください。付属品以外の AC アダプターをお使いになると故障する原因となることがあります。
・室内専用です。
・電源入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
・AC アダプターは、本製品以外には使用しないでください。
・電源入力端子から接続コードを抜くときは、本製品の電源を切って、プラグを持って抜いてください (コードを引っ張らないでください)。
・使用中、AC アダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
・分解したりしないでください。危険です。
・高温多湿のところでは使用しないでください。
・落としたり、強いショックを与えないでください。
・内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
・ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

ソフトウェアに関するご注意

■使用説明書について

使用説明書はパーソナルコンピュータ (以下パソコンといいます) と Windows の使用方法に関する基本的な知識をお持ちになっていることを前提として書かれています。
パソコンと Windows の使用方法については、それぞれに付属のマニュアルをご覧ください。

お使いになる前のご注意

ご使用になる前に必ず「安全上のご注意」をお読みください。

■著作権についてのご注意

著作権の目的となっている画像やファイル転送及び表示は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。
・皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
・目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
・飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。
大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■商標について

・xD-Picture Card ™、xD- ピクチャーカード ™ は富士フイルム (株) の商標です。
・Windows、Windows Vista、Windows 7 は、 米 国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
・IrSimple™ は Infrared Data Association® の商標です。IrSS™ または IrSimpleShot™ は、Infrared Data Association® の商標です。
・SDHC ロゴは商標です。
・SD メモリーカードはパナソニック株式会社、米国サンディスク社、株式会社東芝の商標です。
・miniSD™microSD™ は SD アソシエーションの商標です。
・マルチメディアカードは独 Infineon Technologies AG 社の登録商標です。
・コンパクトフラッシュ（CompactFlash）は、米国サンディスク社の商標です。
・メモリースティック ™、メモリースティック Duo™、メモリースティックマイクロ ™、メモリースティック PRO™、メモリースティック PRO Duo™、メモリースティック PRO-HGDuo™ はソニー株式会社の商標です。
・その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

・この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

使用上のご注意

■避けて欲しい保存場所

次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。
・雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
・直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
・極端に寒いところ
・振動の激しいところ
・油煙や湯気の当たるところ
・強い電磁場の発生するところ (放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど)
・防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■冠水、浸水、砂かぶりにご注意

水や砂は本製品の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露 (つゆつき) にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部に水滴がつくこと (結露) があります。このようなときは電源をオフにし、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、電池またはメモリーカードを取り外して保管してください。

■本製品のお手入れ

・液晶モニター表面などの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。
・液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
・本製品の本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。
シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。

メモリーカード / 内蔵メモリーについてのご注意

■メモリーカード取扱上のご注意

・メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
・メモリーカードを本製品に入れるときは、まっすぐに挿入してください。
・メモリーカードの記録中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源をオフにしたりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
・指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になると本製品の故障の原因になります。
・強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
・静電気を帯びたメモリーカードを本製品に入れると、本製品が誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源をオフにしてから、再び電源をオンにし直してください。
・ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
・長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
・メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。
メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■内蔵メモリーについて

・内蔵メモリー内の画像は、本製品の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。大切なファイルは、メモリーカードや別のメディア (ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など) にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。
・内蔵メモリーをパソコンなどの他の機器を使って初期化（フォーマット）しないでください。
・修理にお出しになった場合、内蔵メモリー内のデータについては保証できません。
・本製品の修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

トラブルシューティング／ FAQ

本製品の動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

■ 電源

症状	ここをチェック！	処置	ページ
電源がオンになりません。	AC アダプターは正しく接続されていますか？	正しく接続してください。	13
使用中に電源がオフになりました。	省エネモードの設定を ON にしていませんか？	省エネモードの設定を ON にして本棚などの薄暗い場所に設置すると、自動的に電源がオフになる場合があります。 省エネモードの設定を OFF にしてください。	31
	OFF タイマーを使用していませんか？	OFF タイマーの設定を OFF にしてください。	45

■ 画像の表示

症状	ここをチェック！	処置	ページ
画像が表示されません。	メモリーカードは正しく挿入されていますか？	挿入の向きなどを確認して正しく挿入してください。	17
	内蔵メモリーやメモリーカードに画像は保存されていますか？	デジタルカメラやパソコンでメモリーカード内に画像が保存されているかを確認した後に、再度、メモリーカードに画像を保存してください。	–
	画像は、この製品で表示できるファイル形式ですか？	JPEG 形式の画像ファイルを使用してください。	66
	画像をパソコンで加工していませんか？	加工したファイルは、正しく表示されない場合があります。	–
再生したい画像が見つかりません。	再生したい画像の入っているメモリー（メモリーカード／内蔵メモリー）に切り替えていますか？	再生メモリーを切り替えてください。	40
	画像をパソコンで加工していませんか？	パソコンで加工した画像は読めない場合があります。	–
	表示画面が絞り込み中ではありませんか？	フォルダ絞り込み機能を解除してください。	44

■ ファイルの管理

症状	ここをチェック！	処置	ページ
メモリーカードの画像を内蔵メモリーにコピーできません。	メモリーカードは正しく挿入されていますか？	挿入の向きなどを確認して正しく挿入してください。	17
	内蔵メモリーに十分な空きはありますか？	内蔵メモリーの残量を確認し、必要に応じて内蔵メモリーの画像を消去してください。	33 38
内蔵メモリーの画像をメモリーカードにコピーできません。	メモリーカードは正しく挿入されていますか？	正しく挿入してください。	17
	メモリーカードが書き込み禁止（LOCK など）になっていませんか？	メモリーカードの説明書を参照して書き込み禁止を解除してください。	−
	メモリーカードに十分な空きはありますか？	メモリーカードの残量を確認し、必要に応じてメモリーカードの画像を消去してください。	−

■ パソコンとの接続

症状	ここをチェック！	処置	ページ
パソコンと接続したが、この製品の内蔵メモリーが認識されません。	USB ケーブル（市販品）は正しく接続されていますか？	正しく接続してください。	55
	パソコンは、必要な動作環境を満たしていますか？	対応するパソコンをお使いください。	55

■ その他

症状	ここをチェック！	処置	ページ
メモリーカードが認識されません。	メモリーカードは正しく挿入されていますか？	挿入の向きなどを確認して正しく挿入してください。	17
	メモリーカードに多数のデータが保存されていませんか？	メモリーカード内のデータが多いと、カードの認識に時間がかかる場合があります。	–
操作しても動きません。	画像のコピーをしていませんか？	複数の画像のコピーをしていると動作しないことがありますが、故障ではありません。しばらくお待ちください。 もし、しばらく待っても動作しないときは、AC アダプターを抜く前に、メモリーカードアクセスランプが点滅していないことを確認した後で、「電源を入れ直す」（→ 65 ページ）を参照してリセットしてください。電源を入れた直後の状態に戻ります。	65
リモコン操作しても動かなくなりました。	電池が消耗していませんか？	電池を交換してください。	11
日付や時間の設定が設定前の状態に戻りました。	24 時間以上 AC アダプターを抜いていませんでしたか？	日付時刻の設定は約 24 時間しか保持されませんので、設定が消えてしまったときは、日付時刻を再設定してください。	16

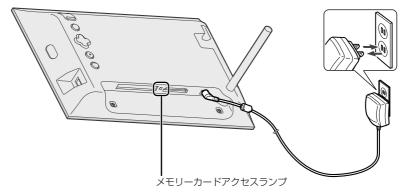
警告表示

本製品に表示される警告には、以下のものがあります。

	警告表示	警告内容	処置	ページ
操作関連	コピー先の容量が不足しています。不要なファイルを消去してください。	コピー先メモリー（内蔵メモリーまたはメモリーカード）の空き容量が不足しています。	メモリーカードなどのコピー先の中身を整理して、空き容量を増やしてください。	33 38
	移動できませんでした	画像データに読み込み専用の設定がされている可能性があります。	パソコンなどで読み込み専用を解除してください。	–
	再生メモリーがメモリーカードのときは設定できません	お気に入り画面の登録は、内蔵メモリーが再生メモリーに設定されているときだけ行うことができます。	内蔵メモリーを再生メモリーに設定してください。	40
	コピーできませんでした	内蔵メモリーやメモリーカードにコピーすることができませんでした。	メモリーカードをご確認ください。	–
	省エネモード中は変更できません	省エネモードが ON に設定されているときは、バックライトの明るさを変更できません。	省エネモードを OFF に設定してください。	31
メモリーカード関連	メモリーカードが書き込み禁止になっています。メモリーカードを確認してください。	メモリーカードが書き込み禁止状態になっています。メモリーカードにライトプロテクト機能がある場合は、解除してください。	メモリーカードのライトプロテクト機能の解除方法については、メモリーカードの説明書を参照してください。	–
	読み取り専用のファイルがあります。ファイルの属性を確認してください。	画像データに読み込み専用の設定がされています。	パソコンなどで読み込み専用を解除してください。	–

	警告表示	警告内容	処置	ページ
赤外線通信関連	この受信データは表示できません。	データが壊れている。または表示できない形式のファイルを使用していませんか？	ファイルの形式が JPEG 形式かどうかをご確認ください。	66
		送信側の機器は、本製品でサポートしている規格に対応していますか？	送信側の機器の規格を確認してください。ただし、機器によっては対応していても通信できない場合があります。	52
	受信データの容量が大きすぎます。ファイルの容量を確認してください。	本製品で使用できる大きさを超えた画像データを開こうとしています。	表示できる容量（6MB 以下）かをご確認ください。	–
	画像データのサイズが大きすぎます	本製品で使用できるサイズを超えた画像データを開こうとしています。	表示できるサイズかをご確認ください。 最大再生画素数は、6400 万画素（8,000 × 8,000 画素）になります。縦、または横が 8,000 画素を超えるサイズの画像は、再生できません。	–
	受信に失敗しました。通信機器を本体の受光部に近づけて再度送信してください。	赤外線で通信できる範囲を超えています。	赤外線通信をする機器を受信できる範囲まで近づけるか、位置を調節してください。	53
	取扱可能な最大ファイル数を超えているため赤外線通信できません。 不要なファイルを消去してください。	本製品で取り扱える内蔵メモリーの画像数は最大 9,999 枚です。	内蔵メモリー内の不要な画像を消去してください。	33
	受信メモリーが不足しています。内蔵メモリーの不要なファイルを消去してください。	赤外線受信のための内蔵メモリー容量が不足しています。	内蔵メモリー内の不要な画像を消去してください。	33

電源を入れ直す

操作しても、この製品が反応しなくなった場合は、電源がオンの状態で、AC アダプターを抜き差ししてください。
電源を入れた直後の状態に戻ります。

注意

- AC アダプターを抜く前にメモリーカードアクセスランプが点滅していないことを確認してください。
- AC アダプターを抜き差ししても、設定内容や日付時刻、内蔵メモリー内のデータは保持されています。

資料集

用語の解説

Exif:
デジタルカメラ用の画像ファイルの規格です。撮影した画像に、次のような情報を記録することができます。
・撮影日時
・解像度
・撮影方向
・画像の撮影に使用した機材（デジタルカメラなど）のモデル名
本製品の一覧画面で使用している縮小画像は、Exif で保存されているものを使用しています。

IrSimple：
Infrared Simple の略で、赤外線通信規格の 1 種。カメラ付き携帯電話やデジタルカメラ、小型プリンターに搭載される場合が多いです。

IrSS：
Infrared Simple Shot の略で、赤外線通信規格の 1 種。IrSimple の簡易版で、IrSimple 1.0 準拠の片方向通信機能の別称です。

JPEG：
Joint Photographic Experts Group の略で、もとは画像圧縮の標準化を推進している組織の名称。そこで標準化したカラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。
デジタルカメラやパソコン、携帯電話で見ることができます。

インデックス：
画像を探しやすいように、縮小表示した複数の画像を、一覧できる形で画面に表示する機能。

スライドショー：
複数の画像を一定時間毎に切り替え、連続して表示する機能。スライドショー中、ある画像から次の画像に切り替わるときの視覚効果を「エフェクト」などと呼びます。

メモリーカードについて

本製品では、以下の市販のメモリーカードの動作を確認しています。
本書では、以下の xD- ピクチャーカード、SD メモリーカード、メモリースティック、コンパクトフラッシュを総称して「メモリーカード」と表記しています。

xD- ピクチャーカード

xD- ピクチャーカード	2GB まで

SD メモリーカード

本書では、以下のものをまとめて「SD メモリーカード」と表記しています。

SD メモリーカード	2GB まで
miniSD カード※	2GB まで
microSD カード※	2GB まで
SDHC メモリーカード	32GB まで
miniSDHC カード※	4GB まで
microSDHC カード※	16GB まで
マルチメディアカード	4GB まで

※本製品で使用するには、それぞれのカードに付属しているアダプター、または市販のカードアダプターが必要です。

メモリースティック

本書では、以下のものをまとめて「メモリースティック」と表記しています。

メモリースティック	128MB まで
メモリースティック Duo※	128MB まで
メモリースティック マイクロ※	4GB まで
メモリースティック PRO	1GB まで
メモリースティック PRO Duo※	16GB まで
メモリースティック PRO-HG Duo※	16GB まで

※本製品で使用するには、それぞれのカードに付属しているアダプター、または市販のカードアダプターが必要です。

コンパクトフラッシュ

コンパクトフラッシュ	32GB まで

注意

- 対応表の範囲内の、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- 本製品に挿入されたメモリーカードを無理に抜き取ると、本製品やメモリーカードが破損することがあります。
- メモリーカードを抜き取るときに、金属端子部分に手や金属を触れないでください。
- カードアダプターを使用して本製品に取り付けたメモリーカードを取り外すときは、カードアダプターごと完全に取り外してください。カードだけを取り外して、カードアダプターが本製品に残っていると、正しく動作しなくなることがあります。
- データの表示中に、メモリーカードを取り外さないでください。データが消えたり、故障の原因になることがあります。
- パソコンでフォーマットされたメモリーカードを使用すると、正しく動作しない可能性があります。

主な仕様

液晶	液晶タイプ	ASV 液晶（Advanced Super View 液晶）
	液晶画面サイズ	7 型
	表示エリア	152 × 91mm
	解像度	WVGA（横 800 ×縦 480）
	表示色	1,619 万色
	総ドット数	1,152,000 ドット（800 × 480 × RGB）
	アスペクト比	15：9
	視野角	左右 176°、上下 176°
	輝度	約 350cd/㎡
	液晶バックライト寿命	約 20,000 時間
	コントラスト比	約 1000：1
その他	最大再生画素数	6,400 万画素（最大 8,000 × 8,000 画素）
	内蔵メモリー	1GB
	最大表示画像数	9,999 枚
インターフェース	USB 端子（デバイス）	miniUSB（B タイプ）× 1
	メモリーカードスロット	スロット 1：xD- ピクチャーカード／ SD メモリーカード／メモリースティック スロット 2：コンパクトフラッシュカード
	赤外線ポート	IrSS ／ IrSimple 受信用× 1 専用リモコン用× 1
対応ファイル	JPEG（ベースライン）	
電源	AC 100V ± 10%　50/60Hz（専用 AC アダプター）	
消費電力	動作時　最大約 8W ／待機時　約 1.7W	
サイズ（約 mm）	幅 214 ×高さ 144 ×奥行き 24.5（突起部／スタンド含まず）	
質量	約 430g（スタンド含む）	

注意

- 仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 液晶画面は、非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応メモリーカードなど記載している情報は、2010 年 1 月現在のものです。
- 視野角、輝度、コントラスト比は液晶パネル単体での測定値です。

索引

[は]

[ま]

[や]

[ら]

アフターサービスについて

保証書

・ 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
・ 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■ 調子が悪い時はまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障か迷うときは、FinePix サポートセンターへお問い合わせください。
電話番号が裏表紙に記載されています。

■ 故障と思われるときは

富士フイルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションに修理をご依頼ください。富士フイルム修理サービスセンター、サービスステーションのご案内が裏表紙にあります。依頼方法は、次のページの中からお客様のご都合によりお選びください。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

・本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
・修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。
・落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。
・内蔵メモリー内の画像は、本製品の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。
大切なファイルは別のメディア (ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など) にコピーして、バックアップしてください。修理に出すときには、内蔵メモリー内のデータは消してください。内部の基板交換等した場合、内蔵メモリー内のデータは保証できません。本製品の修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

■ 修理部品について

・本製品の補修用部品は、製造打ち切り後 5 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。
・本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。

2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。

3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePix サポートセンター等のお問合せ先、富士フイルム修理サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

修理の依頼方法は、下記の中からお客様のご都合に合わせてお選びください。

●富士フイルム修理サービスセンターへの送付修理

・ご依頼の際「修理依頼票」を記載の上修理依頼品に添付してください。
・修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

●お買い上げ店への持込修理

・修理料金及びその支払い方法については、お持ちいただいたお店にご確認ください。

修理依頼票

※予め 72 ページの「個人情報の取扱について」をご確認ください。

※本紙は拡大コピーしてお使いください。※下表の□は、該当する項目にチェック（✔）を入れてください。

フリガナ		電話番号	
お 名 前		FAX 番号	
ご 住 所	〒　　　ー		
ボディ番号（機番） 保証書あるいは本体裏面に記載してある 8 桁の番号です。 修理お問合せ時にご連絡ください。	NO.		
修理品への添付	□保証書　・　□メモリーカード　・　□バッテリー		
□（　　　）	□（　　　）		
□（　　　）	□（　　　）		
見積	□要（修理金額　　　円以上見積り）　・　□不要		
見積連絡方法	□電話　・　□ＦＡＸ		
故障症状（故障時の様子）			
ご購入時期	20　　年　　月		
修理履歴	□初回　・　□再依頼　（□同一症状　・　□別症状）		
発生状況 発生頻度	□開始時のみ　・　□いつも　・　□時々（　　日に　　回）		
発生状況 動作モード	□再生時　・　□ショックを与えると		
発生状況 他機との接続	□無　・　□有（接続機　　　）		
発生状況 使用電源			

富士フイルム株式会社

● 本製品に関するお問い合わせは…

※予め 72 ページの「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フイルム FinePix サポートセンター

TEL **050-3786-1060**

月曜日～金曜日　午前　9:00 ～午後 5:40
土曜日　午前 10:00 ～午後 5:00 日・祝日・年末年始を除く

FAX **050-3786-2060** 受付時間：24 時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

● 本製品の関連情報は、下記のホームページをご覧ください。

http://fujifilm.jp/

● 修理の受付は…

※ 72 ページの「アフターサービスについて」をご覧ください。また、予め「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■修理のご相談受付窓口　富士フイルム修理サービスセンター

TEL **050-3786-1040**

月曜日～金曜日　午前　9:00 ～午後 5:40
土曜日　午前 10:00 ～午後 5:00 日・祝日・年末年始を除く

FAX **050-3786-2040** 受付時間：24 時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

■修理品ご送付受付窓口　富士フイルム修理サービスセンター

〒 989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字 95-1 ／ TEL:050-3786-1040

■修理品お持ち込み窓口

サービスステーションにつきましては、当社ホームページ http://fujifilm.jp/ または上記の<修理のご相談受付窓口>にてご確認・お問い合わせください。

● 本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日午前 9:30 ～午後 5:00）TEL03-5786-1712

Printed in China

10A ①